

市民が創る 福祉プロジェクト 活動報告書2013

地域福祉
アクションプログラム
action!
推進協議会



平成26年3月

地域福祉アクションプログラム推進協議会

わがまちベンチプロジェクト活動報告

**ベンチプロジェクトは、2012年度に引き続き、
「ひと休みと出会いのできるベンチ」を
1台でも多く設置することを目指して活動してきました。
現在、ベンチは市内8カ所に計11台設置されています。**



※茶屋之町さくら通り沿い歩道のベンチ

2013年度は、自治会や社会奉仕団体からの申し出を受け、地域のみなさまにもご理解をいただき、浜風町バス停、茶屋之町さくら通沿いの歩道、JR芦屋ペデストリアンデッキの3カ所にベンチを設置することができました。

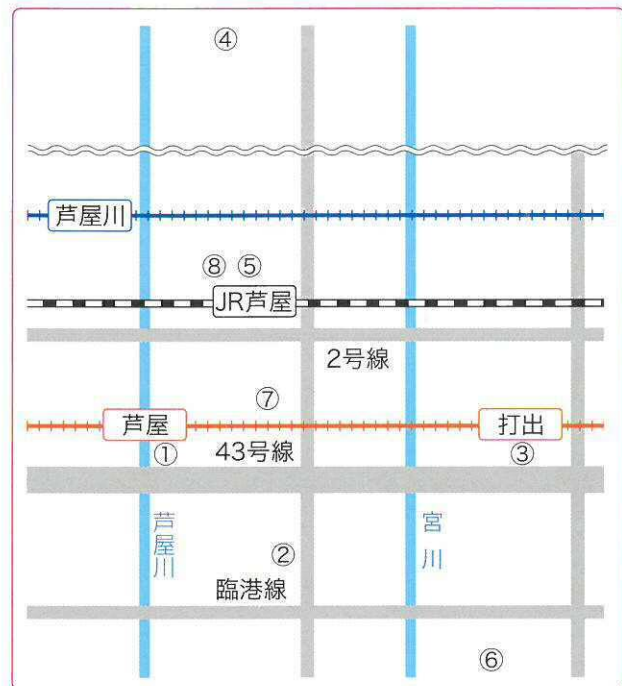
7月「保健福祉フェア」、10月「ちゃや秋祭り」に参加し、2月「第3回市民が創る福祉プロジェクト展」でベンチプロジェクトの啓発に取り組みました。

特に、茶屋之町に設置したベンチは、芦屋市に住んでおられないオーナーの店舗と地元自治会をつなぐという茶屋之町が抱える課題を解決するきっかけづくりのツールとなりました。

「第3回市民が創る福祉プロジェクト展」では、自治会長の発表に加え、ベンチの設計・作製を担当されたM木工、ベンチ設置場所前のK店からのコメントも入って『くすっと笑える、あたたかなエピソード』を聞くことができました。

これは、ベンチプロジェクトの活動の当初から「ベンチに座り、地域のどなたかと出会い、ふれあい、にぎわって、人と人、人と町とがつながりながら、優しくあたたかい町となること」を目指し、夢みてきたことの実現につながりました。

今後も、これまでの活動と同じく「つながり」のツールとしてベンチの里親になってくださる自治会、町内会の団体、組織のみなさまがおられましたら、積極的に支援をしていきたいと考えています。



- ① 芦屋市役所 2台
- ② 保健福祉センター 2台
- ③ 「まごのて」打出商店街 1台
- ④ 奥池集会所 1台
- ⑤ 「憩いの広場」JR芦屋駅 2台
- ⑥ 浜風町バス停 1台
- ⑦ 茶屋之町さくら通り沿い歩道 1台
- ⑧ ペデストリアンデッキ 1台



私たちは「1町に1台」を目指して進んでいきます!

「市民が市民のために、市民が楽しめる情報紙をつくろう」



情報紙プロジェクトの活動を開始して早くも2年が経とうとしています。第1号では、地域の自治会活動を中心に記事を取り上げ発行し、続いて第2号では、現在社会問題となっている認知症をテーマとして発行するに至りました。

企画会議を繰り返し、市民がどのような情報を求めているかを考え、誰もが認知症となる可能性があること、認知症を正しく理解して受診を考えること、また、認知症の人を支える家族の会の活動や相談する場所として、高齢者生活支援センターの情報を掲載いたしました。

「保健福祉フェア」では、認知症の人もそうでない人も、誰もが笑顔で暮らせる地域づくりを考える取組も紹介しました。

2013年度の締めくくりとして第3号を作成しています。現在も企画会議を繰り返し、第2号よりも市民が求める情報にしたいという熱い気持ちで、活発に活動しています。

最後に、編集後記では市民からの感想や意見を求めるためのアドレスを赤字で示し、市民の皆さまから積極的に情報提供をいただき、今後の紙面づくりを考えていきたいと思ひます。

～情報紙メンバーによるコメント～

佐瀬美恵子 ……市外に住む専門職として参加していますが、“わがまちあしや”にこだわった紙面づくりができると良いなあと考え応援しています。

本郷孝 ……楽しさと難しさを実感しています。

船橋久郎 ……高齢者が住み慣れた地域で暮らすを目標にして活動しています。

柴沼元 ……少子高齢化の進む中で高齢者の生きがいと健康づくりを推進して保健福祉の向上に寄与したいと考えております。

木村和子 ……芦屋市は狭い町と思っていましたが、問題から考えますと広いですね。

若林益郎 ……情報は生き物、それを出来るだけ早く的確に伝えることは大変難しいですが、紙媒体の保存性と誰にでも届けられるという長所を活かし、これからも必要とされるわがまち通信にしたいと思ひます。

長岡良徳 ……今、何が知りたいか伝えたいかを常に考えて発信していきます。

村岡裕樹 ……限られた文字で伝えたい情報を考える難しさを実感。もっともっと頭をひねって良いものを作ります。

ひとり一役運動

さまざまなニーズにきめ細かく応える多様な地域福祉活動をすすめるよう、一人ひとりが「できること」で参加し、多彩な人々に呼びかけて広げます。

2013年度「あしや役立ち隊」支援の実績

日時	支援内容	支援を求める人(団体)	活動している人(団体)
5月	総会の運営協力	芦屋市身体障害者福祉協会	ひとり一役
6月	東日本震災被災者支援交流会の運営協力	芦屋ボランティア連絡会	ひとり一役
8月	市民調停人養成講座の開催支援		(社)コミュニティ援助室
8月	みどり地域生活支援センター 夏祭りの運営協力	芦屋市手をつなぐ育成会	ひとり一役 芦屋山手超丸会
8~10月	第2次芦屋市地域福祉計画 【中学生向け概要版】の作成協力	福祉部 地域福祉課	ひとり一役 芦屋山手超丸会
10月	校庭解放管理者の推薦	教育委員会 生涯学習課	芦屋ボランティア連絡会
10~11月	茶屋之町に設置するベンチの作成協力	茶屋之町 自治会	茶屋之町内の事業者 東山町内のデザイン事務所
2014年 3月	春の学習会「成年後見制度」 「介護保険制度」の開催支援	芦屋ボランティア連絡会	ひとり一役 (社)コミュニティ援助室 福祉部 介護保険課

ひとり一役運動活動イメージ ~地域福祉活動の推進~

できるひとが
できるときに
できるだけ

役割づくり
参加呼びかけ

支援を求めている人と
活動している人のマッチング

あしや役立ち隊

プロボノ(知識やスキル
を持ったかた)

地域のお店

体力に自信の
あるかた

健康づくり

高齢者

既存の団体
(自治会・ボランティア
グループ)

学生

ひとりひとりが「できること」で参加

生きがいづくり

障がいのあるかた

子育て中のかた

子ども

介護中のかた

自分が役に立つことを生きがいや、喜びに感じられるように

地域福祉(アクションプログラム)推進報告

■ 報告書の作成にあたって

「地域福祉アクションプログラム推進協議会」の活動は、2年を経過し、地域福祉計画におけるひとつの実験を行っている段階であると認識しています。

第2次芦屋市地域福祉計画の推進は、市民会議からの提言を受け、プロジェクトを発足し、実践する。その成果は、地域福祉計画推進評価委員会に報告します。2013年度は、3つのプロジェクトのうち「わがまちベンチプロジェクト」と「市民が創る情報紙プロジェクト」については、ほぼ当初の目標を達成できました。とりわけ、自治会と地元の商店等の協力によるつながりの実現と中学生の取組によるわかりやすい地域福祉の啓発は、大きな成果であったと思っています。

今年度の取組を検討する中で、特に議論を要した「ひとり一役運動」は、前記2つのプロジェクトを後方支援する活動として「あしや役立ち隊」が、それを担い、支援を求めている人にこたえる新たな資源として「ひとり一役」や「プロボノ(知識やスキルを持ったかた)」が受け手となれることが確認できました。

今後は、「あしや役立ち隊」との関係を含め、中核的機能のあり方に(民間組織との連携・活用も視野に入れて)工夫を重ね、さらに活動の実績を積み上げながら、地域福祉の推進を図ってまいります。

市民のみなさまの深いご理解とご協力を心からお願いいたします。

2014年 3月

地域福祉アクションプログラム推進協議会 会長 上野 義治

2013年度 活動の軌跡

開催日	協議内容
4月11日	新年度の活動の展開、方向性について協議
4月17日	活動報告書の作成について協議
5月13日、31日 6月17日 7月4日	第4回あしや保健福祉フェアの参加内容の協議
7月27日	第4回あしや保健福祉フェア
8月28日	第2次芦屋市地域福祉計画【中学生向け概要版】の作成について【芦屋山手超丸会】の皆さんとの懇談報告
9月30日	第3回市民が創る福祉プロジェクト展の概要を協議
10月15日	ちゃや秋祭りの参加内容の協議
10月27日	ちゃや秋祭り
11月13日	ちゃや秋祭りの報告・成果について協議
12月13日	第3回市民が創る福祉プロジェクト展の内容協議
2014年 1月16日 2月4日	
2月15日	第3回市民が創る福祉プロジェクト展
2月17日	第3回市民が創る福祉プロジェクト展の報告
3月12日	今年度の活動内容の検証について協議

第3回市民が創る福祉プロジェクト展報告

つながろう
芦屋!

『たすけ上手』『たすけられ上手』で 住みよく楽しいまちづくり

2014年2月15日(土)芦屋市福祉センターの多目的ホールにおいて、アクションプログラム推進協議会が主催する「第3回市民が創る福祉プロジェクト展」を開催しました。

今回は、「ひとり一役」をテーマに、NPO法人サービスグラント 関西事務局長の岡本祥公子氏による講演「仕事の経験・スキルを地域に活かすボランティア」や茶屋之町のみなさんが設置された「ベンチ」について、設置までの経過の報告、また「第2次芦屋市地域福祉計画【中学生向け概要版】」について、その作成に関わった山手中学校の芦屋山手超丸会のみなさんによるPRもあり、盛りだくさんの楽しいプロジェクト展となりました。

出席者のみなさんが書かれたアンケートには「仕事の経験を活かして自身もできることをやっていきたい」「地域福祉は、だれでもいつからでも取り組めると思いました」「自分ができることをひとつずつ、小さなことでも取り組んでいこうと感じました」などの感想が書かれ、みなさんの意気込みが伝わってきました。



私たち、アクションプログラム推進協議会のメンバーは、今後も「ひとり一役運動」を実践し、市民のみなさまと一緒に「地域福祉」を推進します。

●お問い合わせ

芦屋市 福祉部 地域福祉課

〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町7-6

TEL 0797-31-2121 FAX 0797-38-2160

ホームページ <http://www.city.ashiya.lg.jp/>